翔（しょう）

令和3年

87

【岸田文雄季刊誌】

Fumio Kishida DETAILED REPORT MAGAZINE
［自由民主党広島県第一選挙区支部］

Contents

○岸田文雄の存在感
－議員連盟や勉強会から政策提言－

○自民党広島県参議院選挙区第一支部長
【西田ひでのり】さん就任

自民党広島県参議院選挙区第一支部長
【西田ひでのり】さんと共に広島で街頭演説を行う

自民党広島県参議院選挙区第一支部長

西田（にした）ひでのりさん

広島県において、4月8日告示、4月25日投票の日程で、参議院再選挙が行われます。広島県にとっても初の再選挙となり、また再選挙となった経緯からも、政治の信頼回復という意味において大変重要な選挙です。
自民党は、広島県参議院選挙区第一支部長の西田ひでのりさんを擁立しました。西田さんは広島市の出身であり、元経済産業省の官僚です。
「信頼回復と未来への改革」をキャッチフレーズに、広島のため日本のためにチャレンジを続けています。ぜひ多くの方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

西田 ひでのり（英範）さんのプロフィール

昭和56年(1981)8月 広島県生まれ
昭和63年(1988)4月 米国ユタ州ワサッチ小学校 入学
平成元 年(1989)4月 尾道市立高須小学校 転入学
平成 3 年(1991)4月 広島市立口田小学校 転入学
平成 6 年(1994)4月 広島市立口田中学校 入学
平成 9 年(1997)4月 広島大学附属高等学校 入学
平成11年(1999)4月 東京学芸大学附属高等学校 転入学
平成13年(2001)4月 早稲田大学法学部 入学（早稲田大学雄弁会所属）
平成17年(2005)3月 同大学 卒業　4月　経済産業省 入省
平成28年(2016)8月 米国スタンフォード大学アジア太平洋研究所客員研究員
令和 2 年(2020)7月 産業技術環境局基準認証政策課・課長補佐
令和 3 年(2021) 経済産業省 退官

●尾道の神楽に没頭した小学生時代

●広大附属高校での体育祭

●経済産業省での仕事風景

趣味：食べ歩きとジョギング
好きな作家：司馬遼太郎
好きな言葉：温故知新
性格：
（自己診断）地味なことでも地道に物事を進める
（妻曰く…）ピュアで不器用、真面目で努力家

西田ひでのりさんに期待します　岸田文雄

いま政治の信頼が問われています。新型コロナウイルスという未曾有の危機の中、国民の皆さまに信頼される政治を実現していかなければなりません。西田ひでのりさんはその先頭に立つ人材です。この危機を乗り越えるため共に最前線で戦ってまいりたいと思っております。

西田ひでのり
LINE公式アカウント始めました!
LINEでの友だち登録をお願いします!

季刊「翔」八十七号　発行 令和三年三月二十六日
自由民主党広島県第一選挙区支部「翔」編集室
〒730-0013 広島市中区八丁堀六ー三　和光八丁堀ビル九階

岸田文雄後援会事務所

●国会事務所
〒100-8982 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1222号室
TEL (03) 3508-7279 (直通)　FAX (03) 3591-3118

●広島事務所
〒730-0013 広島市中区八丁堀6-3
和光八丁堀ビル９階
TEL (082) 228-2411 (代表)　FAX (082) 223-7161

●岸田文雄ホームページ
https://www.kishida.gr.jp/

岸田文雄プロフィール

昭和32年生まれ。早稲田大学法学部卒業後、㈱日本長期信用銀行等を経て、平成5年の衆議院議員総選挙において初当選。以後9期連続当選中。
自民党青年局長・商工部会長・経理局長、建設政務次官・文部科学副大臣、衆議院厚生労働委員長などを歴任後、平成19年の第一次安倍改造内閣において内閣府特命担当大臣（沖縄担当など）で初入閣。初代消費者行政推進担当大臣として消費者庁新設の土台を作る。
平成23～24年にかけて党国会対策委員長として国会最前線で指揮をとり、与党に対して厳しい国会追及を行い、解散に追い込む。
平成24年には保守本流の政策集団である「宏池会」の会長に就任する。
平成24年発足の第二次安倍内閣において外務大臣として入閣。以降4年8ヶ月の長期間外務大臣を務め、その間オバマ米国大統領広島訪問などを実現させ、連続期間・専任期間としては戦後最長の記録を立てる。また憲政史上初の外務大臣と防衛大臣を兼務。平成29年自民党政務調査会長に就任。新型コロナウイルス対策や政調改革などに尽力する。
令和2年自民党総裁選挙に立候補する。

岸田文雄公式Twitter
@kishida230
岸田文雄の日々の活動や政策、日常の一コマなど、様々なつぶやきをしています。ぜひフォローをお願い致します。

岸田文雄の存在感

ー議員連盟や勉強会から政策提言ー

総理面会後、官邸で記者団の質問に答える

今年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて首都圏などで緊急事態宣言が発令されました。

岸田文雄は、これに伴い昨年まで精力的に重ねてきた地方行脚を中止せざるを得なくなりました。

しかしその一方、リモートでの会合の参加や、テレビ出演や新聞などへのインタビューが増え、さらに緊急事態下におけるコロナ対策や経済対策に関する議員連盟や勉強会などを積極的に開催し、政策提言を行うなど、岸田文雄の存在感は益々大きくなっています。

特に、昨年の緊急事態下の中で策定された様々な経済対策や支援策は、岸田文雄が自民党政務調査会長の時に主導したものであり、それらが今年の緊急事態下においても機能していきます。

しかしやはり昨年と今年とでは状況が違いますし、2回目の緊急事態においては従来の対策で十分であるとは言いがたいところがあります。

このため岸田文雄は対策の期限の延長や拡充などを主張し、また議員連盟や勉強会などを通じ、さらなる追加対策などを取りまとめ、政府に提言するなど、新型コロナウイルス対策に全力を尽くしています。

特に3月に宏池会若手の提言としてまとめ、岸田文雄が菅総理に直接手渡しした要望の中身をまとめると

①年度末の潤沢な資金供給　模に応じた給付金
②業種や地域を限定しない事業規
③女性・非正規等困っている方々に　届く支援
④アフターコロナの構造転換支援

の四点が柱となっています。

今回の危機は、リーマンショックなどの過去の危機時と異なり、女性・非正規が支える飲食、観光、生活関連分野等が需要蒸発してしまい痛んでいるところに大きな特徴があります。このため女性・非正規等、弱い立場の方々に特化した深度ある支援策が不可欠であるとした岸田文雄の主張が大きく注目されたところです。

（文・『翔』編集部）

航空議員連盟

宏池会例会

ポストコロナの政策を考える議員連盟

公共工事品質確保議員連盟

コンテンツ産業振興議員連盟

航空議員連盟で官房長官に要望

茨城県の病院を視察

出産費用負担議員連盟で政調会長に要望

諸外国のコロナ対策を学ぶ議連

出産費用負担議員連盟で厚労大臣に要望

首相官邸で記者に囲まれ

商店街振興議員連盟

病院倒産阻止勉強会